

日本の海岸線を歩く会 歩行計画書

報告者：友松知宏

1. 計画の概要

ブロック名	沖縄—3
計画区間詳細	スタート地点：石川／ホームセンタータバタ ゴール地点：辺戸岬
実施期間	平成29年 3月14日(火)～18日(土)
概算歩行距離	120.5Km

2. メンバー表（メンバーの詳細情報は別紙に示すが、ホームページ等には載せない）

No.	役割・分担	氏名	ワゲル期	備考（ワゲルとの関係等）
1	リーダー・記録	友松知宏	8期	
2		友松和子		友松の妻
3				
4				

3. 歩行計画

	月日	出発地～	到着地	歩行距離	歩行参加者	備考（宿泊）
1	3月14日	那覇空港集合＝石川～	辺野古ダム	30.2Km	友松、和子	海と風の宿／久志
2	3月15日	辺野古ダム～	宮城公民館	31.8Km	友松、和子	民泊／東村役場
3	3月16日	宮城公民館～	アダガーデンホテル	30.4Km	友松、和子	民宿海山木／奥
4	3月17日	ガーデンホテル～	辺戸岬	28.1Km	友松、和子	民宿よんなー／大度
5	3月18日	観光	那覇空港解散	—	友松、和子	

120.5Km

4. 歩行ルート概要（地図や概念図、歩行のポイント等）

コースの特徴

沖縄2の続き、石川のホームセンタータバタより、北部東海岸を北上し、北端辺戸岬まで120Kmを歩く。途中高江から安田の間は米軍の演習地で、今回一部返還されたが海岸線に道はなく、国頭山地を歩く。奥から辺戸岬の間も同様歩行不能である。

またこの地域は路線バスがなく、宿泊所も極めて少なく、限られた場所にしかないのでレンタカーを利用し、チーム分けして、レンタカー乗車と歩行を交互に行い、歩行区間をつなぐ方式を採用する。

2チーム編成の場合の運転／歩行の手順

その日の到着点から全員が乗車。中継地点の駐車場所を確認し、更に出発点まで行き、Aチームを降ろしAチームはそこから中継地点に向けて歩行開始。Bチームは中継地点まで乗車で戻る。駐車場に車を置き、そこから到着点に向かい歩行。中継点に到達したAチームは車に乗り、到着点に向かい、歩いてくるBチームと合流。宿泊場所へ移動する。

集合／解散

3月14日10:20 那覇空港ロビー集合。先着者がレンタカーの手続き等を行う。

3月18日16:00 那覇空港解散（観光に参加しない場合は17日解散）

歩行地図



予算 (一人あたり、)

往復バス代 (米子-神戸)	17,080円	(-)
スカイマーク今割往復航空運賃 (神戸-那覇)	17,400円	(23,980円)
レンタカー (軽、5日間/2人頭割り)	8,100円	
ガソリン代	1,600円	
400Km ÷ 16Km/L × 130円/L を2人頭割り		
宿泊費		
1日目 海と風の宿 (未確認)	7,000円	

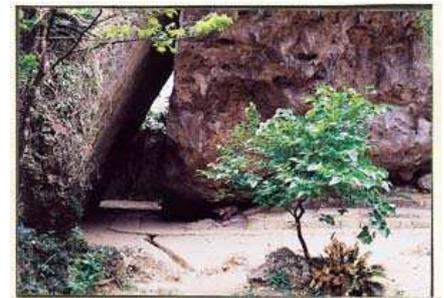
2日目 東村観光推進協議会民泊（未確認）	7,000円	
3日目 民宿海山木（未確認）	7,000円	
4日目 民宿ヨンナー（糸満市大度）	8,000円	
食料費（700円×8）	5,600円	
その他	3,000円	
合計（1人あたり）	81,780円	（71,280円）

記) かつこ内は羽田からのスカイマーク今割を利用した場合の費用概算

5、観光

斎場御嶽(セイファーウタキ)

御嶽とは、南西諸島に広く分布している「聖地」の総称で斎場御嶽は琉球開びやく伝説にもあらわれる、琉球王国最高の聖地です。御嶽の中には、六つのイビ（神域）がありますが、中でも大庫理・寄満・三庫理は、いずれも首里城内にある建物や部屋と同じ名前をもっています。当時の首里城と斎場御嶽との深い関わりを示すものでしょう。はるかなる琉球王国時代、国家的な祭事には聖なる白砂を「神の島」といわれる久高島からわざわざ運び入れ、それを御嶽全体に敷きつめました。その中でも、最も大きな行事が、聞得大君の就任式である「お新下り」でした。斎場御嶽は、琉球国王や聞得大君の聖地巡拝の行事を今に伝える「東御廻り」（アガリウマーイ）の参拝地として、現在も多くの人々から崇拝されています。（南城市公式HPより）



三庫理（サングーイ）

東村民泊

農業体験の受入先の民家に実際に泊まり、農業体験で収穫した食材で沖縄の家庭料理を調理したり、家庭に伝わる沖縄の伝統文化に触れることで、ホテルなどでは味わえない沖縄を体験できます。

東村の全ての民泊受入先では、平成23年度旅館業法上の「簡易宿所」以上の許可を取得しました。



以上